

喝破五訓

- 一、よろこんで与える人間となろう
- 一、いのちを大切に作る人間となろう
- 一、心静かに考える人間となろう
- 一、使命に生きる人間となろう
- 一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

喝破だより

四恩の里

発行 公益財団法人 喝破道場 社会福祉法人 四恩の里 宗教法人 報四恩精舎 発行者 野田 大燈
 住所 〒761-8004 高松市中山町1501番地9 TEL 087-882-4022 FAX 087-881-5906 一部500円
 E-mail kappa@kappa.or.jp URL https://www.kappa.or.jp 郵便振替口座 徳島 01630-6-9731

巻頭言

一本の線香

— 見えないものに心を盡す —



— 偏りなき生き方を学ぶ —

コロナ禍に加えて地域差はあります。ものの台風による水害等は大きな傷跡を残して行きました。事をお見舞い申し上げます。

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、違いなく待ちに待った秋が訪れて参りました。

秋に咲くべき花々は粛々と咲き、果実は天日にわが身を晒して熟する。因縁時節を待っているようです。

人間が地球を差配して極楽浄土を建設している、と言う傲慢さをコロナと自然災害が見事に否定してみせたような気がしてなりません。

人間も地球上の自然の中の一員に過ぎない、と言う謙虚さと自然を畏怖する心を取り戻さなければ自然の秩序は回復しないのではないでしょ

うか。

自然から学ぶには自然との感応道交が必要だと思えます。

その為には先入観を捨てて無心となつて「聴く」ことではないでしょうか。

否、聴くと言う思いすら無用かも知れません。

戦国時代に茶匠として織田信長、豊臣秀吉に伍して生きた千利休居士は禅に生き禅に死した巨匠だったと評されています。

居士が茶室を造作している時に、床の間に掛け軸を止める釘を大工に命じて打たせようとしてその位置を指示していました。

居士が「うん、その位置だ」と指示すると、大工に疑念が生じて指示された位置に少し傷を付けて掛け軸を落としました。

そうして改めて居士の指示で釘の位置を問うたのです。

再度居士が「そこだ！」と言った位置は、違いなく先に指示された位置であった、と文章に残っているそうです。

狭しと言えども茶室の床の間の前後左右の空間の中で、釘の位置はその一点のみなのです。

私の修行時代、当時の大本山永平寺の禅師猊下が地方僧堂での大法要で導師を勤められました。

本堂須弥壇の前に立たれた禅師は中心に立てられた線香を睨むようにして微動だにしないのです。

法要係の修行僧は勿論として参列の随喜寺院の方々も訝つて本堂全体が凍り付いたかのような雰囲気になりました。

その時に、後ろに控えていた本山の侍者和尚が静かに近づいて来て、猊下に黙礼すると線香を立て直しました。

猊下は深く頷いて何事もなかったように薫香して式典が進みました。

当時私は駆け出しの新到でしたので、その様子すら伺い知れませんでした。

猊下はどうして須弥壇前で動きを止められたか？

それは本尊様に供えて立てられた線香が垂直に立ってなかったからでした。

例え一本の線香であろうとも、本尊様に捧げる線香が垂直に立てられてなかったのは、任務にあった修行者に切なる思いが欠けていたからだというのです。

たかが線香一本、されどその立てられた一本の線香から修業力が読み取れる、と言うことに恐怖すら覚えました。

禅では吐く息、吸う息の相中が人生だ、と解いています。

この世に誕生して吸う息・吐く息など考えたこともない、と言う御仁もおられると思いますが、生き方を考えてみませんか。

— 大燈記 —

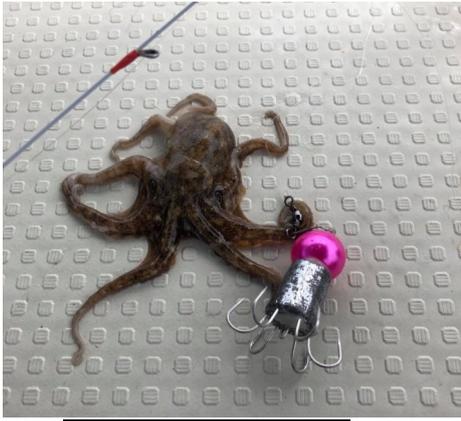
自立塾 (一六八)

―夏の終わりに―

イイダコ釣り

十二日は皆でイイダコ釣りに行ってきました。

イイダコは漢字で「飯蛸」と書き、一月から三月の冬の産卵直前の子持ちイイダコを煮た時に、中に詰まっている卵の様子が飯粒が詰まっているように見え、もちっとした食感も飯粒にとっても似ている事からその名がつけました。瀬戸内海沿岸が主な産地ですので、瀬戸内以外の方はなじみが無いかもしれませんが、煮付けたイイダコとても美味しく、イイダコシーズンになると無性に食べたくなります。ただ、九月はまだ「飯」が入っていないイイダコですので、言わば小さな蛸なのです。



小さなイイダコ

自立塾では毎年イイダコ釣りに挑んでおり、毎年数匹しか釣れず、リベンジ！リベンジ！と言わば風物詩と化しています。さて、今回の釣りはどうだったでしょうか？

イイダコが釣れたという情報はすぐに広まり、イイダコが釣れるポイントには釣船でいっぱいになります。十二日も多くの船がイイダコ釣りに来ていました。海上は少し風と波が有り、船が揺れて釣り辛い状況でした。若干二名は船酔いで早々に港に戻り休んでいましたが、皆でなんとか計二十三匹釣ることが出来ました。夕食にはイイダコの煮付けや蛸飯を美味しく頂きました。



イイダコの煮付け

イイダコシーズンはまだ始まったばかりです。「飯」の入る冬まで釣れますが、その頃には数が減り、なかなか釣れづらくなります。冬がくるまでもう一度チャレンジし、イイダコ料理を堪能したいと思います。

大根の栽培

十六日に大根の種を蒔きました。運良く、翌日は雨が降り、その後も定期的に雨が降ってくれたので順調に発芽しています。



発芽した大根

この大根は食材用と漬物用に使います。大根はビタミンC、カリウムや消化を助け胃腸の働きを整えるジアスターゼを含み、栄養的に優れた食材です。食欲の秋に食べ過ぎた時にはもってこいですね。

大根の漬物は禅宗で「香菜」と呼び、食事が終わるとお茶と香菜で使った茶碗を洗います。自立塾でも同じように毎食漬物で器を洗いますので、漬物の消費量が多いのです。

昨年は大根を育てることができず、市場から大根を百本購入するという恥じるべき行為をしてしまいました。今年は大根が収穫出来るよう栽培していきます。

頑張れ!! 『自立塾』 私達も応援しています。

せいへん
蛻変の経営
大坂塾



<http://www.osaka-juku.com/>
本社オフィス
東京都江東区有明1-4-11-3217
TEL/050-5505-1006

香川オフィス
香川県高松市番町4-2-19
TEL/087-863-6888

『喝破道場』 私達も応援しています!

株式会社ギフトグッズ
Gift Goods
株式会社 ギフトグッズ

株式会社ギフトグッズ
香川県高松市六条町1205-1

TEL 087-814-4990
FAX 087-814-4991

新しい世界を楽しもう

ハーブ園便り

ミントの出荷

新型コロナウイルスの影響で、飲食店に卸していたハーブ等の注文が激減していましたが、六月頃からぼつぼつと注文が入りだし、八月からは以前と変わらないぐらいの注文量に戻りました。スペアミントは需要が供給量を越し、まだ小さなミントを皆で一先懸命収穫しました。



九月末でスペアミントの大型出荷が終わり、一段落しました。県内のミントの注文は続きますが、供給量を越すことは無いでしょう。来年度は安定して提供できるように工夫したいです。

ブドウの加工

今年もブドウを乾燥して『ドライ

クレープ』にして欲しいと依頼がありました。今年で四年目となり、毎年お客様に好評とのことです。

加工するブドウは「ニューピオーネ」の二級品です。いわば、色付きが悪かったり、糖度が少し劣る物です。以前は、実験的にシャインマスカットの糖度十八%の物を乾燥加工したことがあります。糖度が高すぎると、糖でベトベトになり、味はまるで干し芋に近いです。糖度の高い果物はドライフルーツに合わないことが分かりました。一級品よりも二級品の方が程よい甘さでとっても美味しいのです。



加工作業として、まず、水洗いをし、フォークなどで一粒一粒穴をあけていきます。穴をあけないで乾燥すると乾燥しずらく時間がかかります。乾燥温度は企業秘密ですが、低温でじっくり乾燥します。ハーブ園には遠赤外線乾燥機と温

風乾燥機を保有していますが、ドライフルーツを作るときは温風乾燥機が良いです。温風乾燥は表面から乾燥し、中心部が少しレアな状態で仕上がりますが、遠赤外線乾燥機は中心部から乾燥するため何かベトベトになりなかなか乾燥できません。逆にハーブ等は遠赤外線乾の方や色や香りが残って良いです。加工物によつて乾燥機を使い分けることが大事です。

今年約二〇〇kgのブドウを乾燥し約五〇kgのドライグレープが仕上がりました。皮ごと乾燥しているので歯ごたえが良く、とても美味しいです。今年も大好評間違いなし



御購入を希望の方は、ネット販売をしておりますので是非ご購入ください。野菜や果物の乾燥依頼を承ります。オリジナル商品を作ることもできます。興味のある方はご連絡くださいませ。

私達も応援しています。『自立塾』

人と企業を結んで32年!

フリーペーパー  Human Network  タイムス

2,500余ヶ所にて無料配布

株式会社 求人タイムス社

本社 / 観音寺市本大町1541-3
TEL (0875) 25-0404

高松営業所 / 高松市林町230-6 極東ビル1F
TEL (087) 864-6373

<http://www.kyujin-times.net>



『自立塾』私達も応援しております。

キッチン・バス・トイレ・増改築・ボイラー工事
四国ガスショップ・四国電力認定店
高松市上下水道工事指定工事店

 **広瀬** 住宅総合サービス

(本社) 高松市末広町6番地9
☎822-5478代 ☎0120-512677

(離島店) ☎861-3167

基調講演

大燈和尚が、東京農業大学世田谷キャンパスにて、「人間・植物関係学会、日本園芸療法学会合同国際シンポジウム二〇一九年度大会」の開催に際して行った基調講演の内容を掲載させていただきます。

花無心(四)

― 連綿の生命に目覚めるとき ―

野田 大燈 (曹洞宗僧侶)
公益財団法人喝破道場理事長

今でもお寺を改築や新築する時には七百年前の鎌倉様式とかで造ったりしますが私の考えからすると、寺院はまさに令和の時代の最先端の建物でなければならぬのではないかと思っています。これが私どもの拠点ということなのです。

公益財団法人 喝破道場

- ・社会的包摂・[絆]再生事業(国庫補助事業)
- ・〇 若者自立塾
- ・生活保護受給者就労支援(市補助事業)
- ・〇 ローズマリーの会
- ・二〇ト・引きこもり・生活困窮相談室



― 坐禅堂 ―

本体の喝破道場では生活保護受給者就労支援として、地元香川県下の高松市と坂出市・善通寺市の三市から、生活保護を受給されている方が三ヶ月クールで参ります。国の方針で早く生活保護生活から脱して自立して欲しい、就労して欲しいということでも私どもに受け入れの打診がありました。「どうして私どもなのか」と問うと「和尚さんの所にはハーブ園があるでしょう。就労支援の一助としてハーブ園の手入れをさせて欲しい」と言うことでした。ハーブ園で就労訓練をしている市町村は全国でも珍しいのではないのでしょうか。そして何と就労率五〇パーセントだと福祉課のワーカーが言っていました。これもアロマテラピー効果だと思えます。



暁天・夕刻の坐禅

これはスポーツチャンバラといって、剣道の原型とも言えるチャンバラを現代的にしたものです。



子どもたちの中には虐待だとか、鬱の関係で身体が凝り固まって動けない傾向があります。この状態を改善するのに何が良い手立てはないものか、といういろいろ考えた末にスポーツチャンバラと言うものがある事を知りまして導入しました。



これは剣の形になっていきますが剣は柔らかく包まれていて当つても痛くない。これなら思いっきり叩ける、叩かれても痛くない。特に被虐待の子ども達は身体全体が緊張してなかなか身体が動きませんが、面白味もあつて徐々に子ども達の身体が動くようになってきます。心を閉じていると身体まで閉じてしまつて動けなくなっていくのですね。

これは春先ですが。海拔四〇〇mの上ですから、筍があつたり、イタドリがあつたり、ワラビがあつたり、本当に自然がいっぱいです。これは自給自足の共同生活をしている我々の宿命ですが、筍が出だすことだいたい三ヶ月は毎日筍を食べることになります。身体に良いか分かりませんが。みんなにこにこしています。みんな引き籠りですよ。このボランティアのおぼちゃん達は違いますが。

(つづく)

へリセットボタン

安部麗子

一郎が木に登ってみると、林の木がザワザワ揺れて、やわらかい金色の陽射しをふりまいています。

雨上がりの林は、一枚一枚の木の葉がきれいに洗われて、緑がくっきりしています。木の股に寄り掛かっていると、少し眠くなっています。

そこに、一匹のリスが近づいてきます。黄色いボタンのついた小さなチョッキを着て、山高帽子をかぶった紳士です。

リスは、礼儀正しく帽子をとってお辞儀をします。

「山田一郎さんですね」と言いながら、懐から小さな名刺を取り出します。

でもあんまり小さな名刺ですから、目をこすっても読めません。

「クルミザワハヤオと申します」

リスは、一郎の手のひらに、「胡桃沢捷男」と指で書いてみせます。

「実は昨日、私の連れ合いが、台風で倒れた木の間に挟まり、難儀しておりましたところ、あなたさまが木をどけて下さったおかげで、命拾いしたのでございます」

ああ、あの時の…と、一郎は思いだします。「つきましては、お礼を差し上げたいと思います」

「クルミザワ氏は、チョッキのボタンをブチツとちぎって渡します。

なんとまあ、ちっぼけで可愛らしいお礼でしょう。

「ちっぼけなボタンとお思いでしょう。坊ちゃんがお困りになった時、これを押して御覧なさい。時間がちよつとだけ、元に戻るんです」

ほんとかしら、と半信半疑でボタンを押してみますと、リスがこう言うのです。

「山田一郎さんですね」そのあとは、そっくり同じです。

「ね、解ったでしょ。なくさないように、お母さまにシャツのポケットにでも縫い付けておもらいなさい」

一郎は、一番気に入っているチエツクのシャツのポケットに、このボタンを縫い付けてもらいましたが、リスのお遊びだと思っていましたので、すぐに忘れてしまいました。

いつものように美子と遊んでいる時、何気なく「大きくなったらけっ

こんしようね」と言いますと、美子は、「バツカみたい」と叫んで行ってしまいます。

なんてバカな事を言ってしまったのかと後悔しましたが、後の祭りです。

泣きべそをかきながらボタンをいじくっていると、いつの間にか美子がそばにいます。

「大きくなって友達でいる？」と言いつつ、「勿論よ！」と言ったばかりか、ほっぺにチュツとしてくれたではありませんか。

しめた！と思った一郎は、もう何も恐い物はありません。

テストは、答えあわせの後でリセットすれば百点です。

お皿を割っても、リセットして片づけておけばオーケーです。

雨がふってきた時は、洗濯物が濡れた後でも、リセットしてとりこんであげると、お母さまに感謝されます。

でも、時間が戻った分だけ、心のどこかを取り残されたような気がするのです。

でも、だからといって、困りはしません。

この素敵な宝物の事は、誰にも話さず、大きくなるにつれて、大きな服

にボタンをつけかえます。

そして、全然失敗をしない優等生として、大学を卒業します。

ただ、リスの言った通り、時間はほんのちよつとしか戻りませんので、あんまり大きな事はできません。

それでも、小さなリセットを積み重ねてゆくと、ひと財産が出来ましたし、なんとか人並みに結婚し、子供も孫も出来ました。

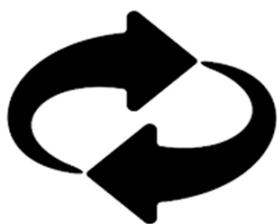
ある日、今は外国に住んでいる美子が、久しぶりに訪ねてきます。

一郎はずいぶん年とって見えますが、話している内に、中身は全然成長していない事に美子は気がつきません。

だって、おじいさんなのに、スキップしたりするのです。

そして、「大きくなったらけっこんしようね」なんて言うのですもの。

了



ひみずの滝 (五)

田中徹矢

その日、瞬介が五色台から帰ると、母の晴美が夕食を作っているところだった。

「あれ、母さん、今日は早いね」「でしよう？ めずらしく仕事が終わる片付いてね。早く終わったら終わったで、お腹がすいちゃったから、ご飯作ってるの」

母は貿易事務の仕事をしていて、ふだん帰宅するのはもつと遅い。夕方七時ごろに家にいることは滅多になかった。

「それより瞬介、帰ってきたら、『ただいま』でしょ？」

「ああ、そうか。ただいま」

早い時間に母がいるのがめずらしいから、つい忘れてしまった。

「父さんにもよ」

「わかってるって」

瞬介は、居間のサイドボードの上にある父の遺影に手を合わせて「父さん、ただいま」と声をかけた。

瞬介の父・隆之は自分で流派を興し、空手道場を主催していた。八年前のある夏の日、武者修行で全国を旅しているという男が父に立ち合いを求めてきた。ふだん道場破りの手合いは、他流試合禁止の方針を伝

え、丁重に断っていた。だが男は父のかつての兄弟子だった。旧交を温めたのち、やはり立ち合うことになった。お互い、武道家の血がそうさせた。

立ち合いを見届けた父の弟子によると、勝負はほぼ互角だったらしい。しかし最終的に道場の床に倒れていたのは父だった。すぐに病院に運ばれたが、頭部を強打されたことによる急性硬膜下血腫により、間もなく息を引き取った。父を倒した男は、弟子たちが病院へ搬送しようと右往左往してる間に姿を消していた。

母と幼い瞬介が病院に駆け付けると、医師から父の死を告げられた。

信じられなかった。まだ三十三歳の若さだった。父は武道家だったので、いつかこんなことが起きるかもしれないと教え込まれていた。まさか本当に起こるなんて。しかもこんなにも早く。

瞬介は、父の訃報を聞かされても涙することはなかった。当時、六歳だったから、死というものをどう受け止めていいのか分からなかったのだ。葬儀の間も、感情を失くしたかのようにだった。

黒い喪服の人々が入れ替わり立ち替わり祭壇に焼香する。きらびやかな袈裟を身に着けたお坊さんが木魚をたたき、読経する。瞬介は、それ

ら非日常的な光景をただただ見つめていた。

母にうながされ、ハッと気づく。出棺だ。

「父さん、いかないでっ！」

父の棺に取りすがった。泣いて泣いて、泣きわめいて棺にしがみついた。母は泣きじゃくる瞬介をそっと棺から引き離れた。

母は当時どのような思いだったか。瞬介は考えることがある。父を奪った相手に、まったく思うところがないわけではないだろう。ただ立ち合いは尋常なものであったと聞いた。武道家同士の立ち合いは、こういうことが起ころうとも、お互い納得せずのはず。恨むのは筋違いだ。

おそらくは母は、後ろ向きな感情すべてを胸の裡に飲み込んだのではないかと思う。それが証拠に、相手を恨んだり、悲運を呪ったり、をいっさい口にしない。瞬介の前では、とにかく陽気で明るい母であった。「また、ひみずの滝に行つたの？」

炒め物をしながら、瞬介に聞いてくる。

「そうだよ」

「空手の稽古？」

「うん」

「へえ、えらいわね。父さんも喜ぶわよ」

フライパンに目をやったまま、母はストレッチするみたいに軽く左右に腰をひねった。それを見て、瞬介は、機嫌がいいなと直観的に思う。昔から気持ちが高まると、無駄に体を動かすくせが母にはあった。

「でも、父さんに習ったのって、瞬介がかなり子供のころでしよう？ 教えてもらったこと覚えてるの？」

「まあ、そうなの」

晴美は振り返って、にっこり微笑んだ。

道場は隆之の弟である和明が受け継いだ。和明は、隆之が元いた流派で空手を学んでいた。小学校に上がった瞬介は、叔父が引き継いだ道場に参加する。しかし父の死は、空手に対する恐怖心を植え付けていた。

(つづく)



戴き物一覧

8月21日～9月20日

- 一 洋菓子 千葉県稲毛区 南部 公成様
- 一 梨 石川県金沢市 上田 静子様
- 一 静岡茶 静岡県浜松市 中西 大介様
- 一 お米 兵庫県姫路市 安東 美樹様
- 一 香川県善通寺市 小田 征一様
- 一 香川県さぬき市 白井 俊明様
- 一 お菓子 香川県高松市 アイゼン はま街道様
- 一 和菓子 香川県綾歌郡 北岡 侯子様
- 一 素麺 香川県観音寺市 匿名 様
- 一 洋菓子 愛媛県松山市 栗田 良則様

ご寄付

8月21日～9月20日

- 北海道札幌市 甲斐 敦子様
- 東京都千代田区 増澤 陽策様
- 香川県高松市 新田まち子様
- 香川県観音寺市 匿名 様
- 令和2年度（9月20日現在）
ご寄附総額は、
百二十七千四百三十四円です。

皆様方の温かいご支援に、
心より感謝申し上げます。



自立塾のご案内

『自立塾』は、自立に向けて不安を抱えた方や、何らかの理由や原因により生きる目的や体力・気力に自信をなくした方の社会復帰支援・自立支援塾です。

禅の修行生活を取り入れ、合宿形式による自給自足の集団生活により、各人それぞれが生きる自信と意欲を取り戻すために日々取り組んでいます。

・期間：三ヶ月コース・六ヶ月コース

※ご要望により長期滞在可能です

・入塾受付：随時

・募集定員：一〇名

・対象者：自立に向けて不安を抱えた方、地元から離れた学校に通学したい方

・入塾要件：自らの意思で入塾を希望している方

・年 令：問いません
・経 費 施設協力金 五万円
生活費 一日五千円×日数分
(二ヶ月十五万円)
(初回入塾時のみ)

※ご家族の昨年度の年収が四百万円以下の場合、生活・指導費について軽減いたします。

入塾時の現状分析によりクラス編成を行います。そして、それぞれに卒業までの目標を定めます。

- ・生活リズム確立組
- ・農作業組・体力回復
- ・通学組：自立塾最寄りの学校への復学・通学（一定期間、送迎を行います）
- ・アルバイト組、就労体験組：自己責任での外出行動。金銭管理の実施。
- 「教え」「教えられる」ことによる学びが、自発的な成長意欲をかきたてます。

卒業判断基準

- ①生活リズム改善
- ②基礎体力の回復
- ③能動的行動の変化
- ④他者とのコミュニケーション力の確立
- ⑤自信の回復（自立意欲の回復）

卒業前段階として、本人の希望により関連企業への職場見学や就労体験を行います。



「喝破道場」ご支援のお願い

平素より公益財団法人喝破道場の活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

「禅」を心の拠り所としての活動を展開し、更なる社会貢献を図って参ります。どうぞ本誌のご購読とご寄付によるご支援を賜りたくお願い申し上げます。

ご寄附に対しましては、公益財団法人の活動として租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一号に規定する要件を満たしております。「税額控除に係る証明書」が発行されますので、節税としてもご利用下さい。

- 購読料 年間五、〇〇〇円
- ご寄付 一口五、〇〇〇円
- (一口以上、何口でも結構です)

郵便振替口座 01630・6・9731
公益財団法人 喝破道場

賛助広告掲載ご協力のお願い

平素は『自立塾』の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。
昭和49年に興されたカッパ禅道場。開山の精神は、自立塾に受け継がれています。揺るぎない思いを胸に今後も活動してまいります。一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ページの下端一枠
(ヨコ8cm×タテ6cmほど)
年間12回 60,000円
受付 087・882・4022

九月の日鑑

11 8 薬師講
イオン幸せの黄色いレシートキャ
ンペーン参加 於 高松イオン
15 山王小祭
高松市委託就労準備支援事業
(毎週月・水・木曜日)

十月の予定

11 8 薬師講
イオン幸せの黄色いレシートキャ
ンペーン参加 於 高松イオン
15 山王小祭
高松市委託就労準備支援事業
(毎週月・水・木曜日)
善通寺市委託就労体験的ボランティア
ア事業 (毎週火・金曜日)

大燈和尚九月の日鑑

1 5 5 インドサルナート壁画展
於 香川県立ミュージアム
特別展示室
1 圓通寺「定例坐禅会」
15 圓通寺「定例坐禅会」
19 喝破道場彼岸会法要
19 香川県高齢者協同組合
25 彼岸会法要 於 圓通寺
25 社会福祉法人「四恩の里」施設
管理者会議 於 亀山学園
20 6 2 大燈和尚十月の予定
若竹学園生徒坐禅会
圓通寺「定例坐禅会」
圓通寺「定例坐禅会」

秋彼岸法要

九月十九日報四恩精舎の本堂にて、
秋彼岸の法要が執り行われました。
ご多用の所、ご参列を賜り厚くお礼
を申し上げます。



大阪市

山口 近香

編集後記

暑い暑い夏が終わり台風一過と共に急に秋が訪れました。それでも日中は気温も上がり寒暖差に体調を崩しそうですね。

五日は香川県立ミュージアムで開催されていた「野生司香雪とサルナートの仏伝壁画展」を塾生の皆と観覧させてもらいました。

野生司香雪(のうすこうせつ)は、高松市出身で明治から昭和時代の日本画家です。1932年に日印協会などを通じて仏教聖地の一つで、釈迦が初めて説法をしたとされるインド北部サルナートの初転法輪寺に派遣され、釈迦の一生を描いた「釈尊一代記」縦四メートル、横四十メートルを超える大作壁画を完成させました。今回は、野生司画伯がインドから持ち帰り、福井県の本山永平寺に献納していた壁画の大幅(原寸大の下絵)を特別展示されています。圧倒的なスケールで描かれており、とても見応えがありました。永平寺に安居しておりながらも野生司画伯の下絵が献納されていることは全く知りませんでした。観覧の帰りは、皆を乗せ高松のフェリー乗り場や高松港などをドライブし海岸沿いを走って帰りました。暑さをしのぐ清涼し気持ちになった一日でした。

—— 大然後記 ——

児童施設で働いてみませんか



職 種：管理者候補 医師(精神科医)
心理 保育士 児童指導員 事務員
勤務先：四恩の里 本部
児童心理治療施設 若竹学園
児童養護施設 亀山学園
自立援助ホーム なごみハウス園



連絡先：香川県高松市中山町1501-192
社会福祉法人四恩の里 本部 ☎087-816-1380
メールアドレス: 4on@4on.or.jp ホームページ: http://4on.or.jp